

# 幸せを生み出すお金の使い方“寄付”を捉え直すシンポジウム

# 「今、

# 改め

# て

# 考

# え

# る

# 寄付」

2011年7月23日(土)

14時30分～16時30分

横浜情報文化センター

## パネリスト



地方の寄付税制議論をリード  
跡田 直澄 氏  
(嘉悦大学副学長・教授)



社会起業家として注目を集める  
駒崎 弘樹 氏  
(NPO法人フローレンス代表)



“クリック募金”の先駆者  
関根 健次 氏  
(ユナイテッドピープル(株)代表)

## 司会・コーディネーター



山元 香里 氏  
(フリーアナウンサー)

参加  
無料

## 申込方法

### 電話

お名前と連絡先をお知らせください

### FAX

イベント名、お名前と連絡先を明記  
のうえ送信してください

### 電子メール

神奈川県ホームページから  
フォームメールをご利用ください

## 申込期限

7月19日(火)

## 問い合わせ・申込み

神奈川県県民局NPO協働推進課 NPO支援グループ

電話(045)312-1121内線2862～2864 FAX(045)-312-1166

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7763/>

# シンポジウム「今、改めて考える寄付」

3. 11 東日本大震災以降、被災者に向けた義援金を集める募金が活発に行われ、また、避難生活者の心のケアなどに取り組むNPOに対する支援金の募集も盛んに行われています。さらに、政府においても、制度の面から寄付を後押しする税制優遇の拡充が図られています。このように、寄付がこれまでになく身近な存在になりつつあることから、2011年は「寄付元年」だという声も聞かれます。

こうした環境にある今だからこそ、寄付にはどのような社会的な意義があるのか見つめ直し、どうすればその意義が最も生かされるのか、改めて考えるときにきているのではないのでしょうか。

シンポジウムでは、様々な形で寄付に関わる先駆者をパネリストに迎え、各々の取組みに根ざした討論を展開します。

【パネリスト】

## 跡田 直澄 氏

嘉悦大学副学長・教授 経済学博士

総務省ふるさと納税研究会委員、名古屋市立大学経済学部助教授、大阪大学大学院国際公共政策研究科教授、慶応義塾大学商学部教授などを歴任。著書に『利益が上がる!NPOの経済学』(集英社インターナショナル 2002年) など。

## 駒崎 弘樹 氏

NPO法人フローレンス代表理事

慶應義塾大学総合政策学部在学中にITベンチャー経営者として、様々な技術を事業化。同大卒業後「地域の力によって病児保育問題を解決し、育児と仕事を両立するのが当然の社会をつくれまいか」と考え、ITベンチャーを共同経営者に譲渡しフローレンスをスタート。日本初の「共済型・非施設型」の病児保育サービスとして展開。著書に『「社会を変える」お金の使い方～投票としての寄付 投資としての寄付～』(英治出版2010年) など

## 関根 健次 氏

ユニテッドピープル株式会社代表取締役

高校卒業後、アメリカの大学へ進学。卒業後、帰国し、主にIT業界に身を置く。2002年に起業。大学の卒業旅行で偶然紛争地を訪問したことがきっかけで、世界の問題解決を目指す事業を開始。2003年5月にNGO/NPO支援のための募金サイト、イーココロ!を立ち上げる。著書に『ユニテッドピープル』(ナナロク社2009年)

【司会・コーディネーター】

## 山元 香里 氏

フリーアナウンサー

福島テレビアナウンサーを経て日本テレビ「ズームインサタデー」TBS「ピンポン!」フジテレビ「スーパーニュース」等で、フリーアナウンサー／キャスターとして活動を続けながら、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科(修士課程)に在学して社会貢献について学ぶ。さまざまな社会貢献団体イベントの司会などを務める。

## ■ 横浜情報文化センター 交通アクセス

(神奈川県横浜市中区日本大通11)

○ 電車

みなとみらい線

「日本大通り駅」情文センター口から0分

JR・横浜市営地下鉄

「関内駅」から徒歩10分

○ バス

横浜市営バス

「日本大通り駅県庁前」バス停徒歩1分

横浜駅東口バスターミナル(横浜そごう1階)

より8・58系統 乗車15分

桜木町駅バスターミナル

より8・11・58系統 乗車10分

○ 車

首都高速「横浜公園ランプ」 3分

